



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

中同協社員教育委員会報告

今回、諫早支部 松田一成会員に 中同協 社員教育委員会にご参加頂きました。報告書を頂きましたので以下、掲載いたします。

日 時：2011年8月22日13時～23日11時

場 所：アルカティア市ヶ谷

参加者：全国26同友会・中同協 計68名

1. 映画「かすかな光へ」

(大田堯東大名誉教授の教育に関するドキュメンタリー映画) 上映

2. 大田先生の講演

大田先生は、この映画の完成は2月で、東日本大震災の直前であった。原発のような生き物に危機を与えるものがどうして出てくるのか？現在の地球上には何が起こってもおかしくないものがたくさん存在する。地球環境破壊（地球温暖化）の進行は『モノ』作り、その背景には『金』の問題あり。『モノ』『金』の使われ方によって、地球環境破壊に通じる。東日本大震災の被災地だけではなく、世界中のどこでも被災地になる可能性がある。『モノ』『金』も人類が作り出した産物が、逆に生命を奪うものとして使われている。

このような前提の話があって、教育によって「賢い人間をたくさん作っていけば社会は良くなる」と考えて、安易に教育研究を選んだことを後悔されていた。現在は教育によって人を変えることは出来ない。同友会は『教え育てる』ではなく、『共に育つ』といっているのだから『共育』で、まず社長が変わって「金だけではなく、社員と共に社会貢献できる企業へ」と思っている、やはり社員に教え、論じながら傾向がある。

また、人間は自己中心的（生物の特性）であり、他の生物を食べてないと生きられない。自己中心（命）《内向きの力》と、他者依存《外向きの力》



で人間は形成されている。このことが、映画にあるように個を大切にしながら全体が生かされる共同体を作り『違うこと』・『自ら変わること』・『関わること』の3つ特徴を持って、自らの判断で行動すること。と基本的人権を主軸とした共生、共に育ちあうことを映画は提起しているという。

3. グループ討論

討論テーマ：

①映画「かすかな光へ」から何を学んだか、

②どのように社員と育ちあうのか

中同協のまとめ（梶谷中同協副委員長：岡山副代表理事）

映画「かすかな光へ」は、人間本人がその気になってこそ変わる。また、他社との関わりがないと生きていけないと言う生命の特徴を前提として、教育を考えることを提起した。社員とどの様に関わりを持つかによって、社員が変わることを誘発できるかどうかが変わってくるのだ。これまでの日本の企業社会では効率最優先のなかで人間を型にはめる傾向があった。経営者と社員では見えている世界が違うことを、お互いに理解して認め合うことが大事。と、まとめられた。

目次

中同協社員教育委員会報告	1	新入会員・復会の皆さん	13
9月例会報告	2	11月例会案内	15
コラム「私のツーリング日記」	7	理事会議事録抜粋	16
中同協第43回定時総会参加報告(3) ...	8	会員消息・会員数	16
県政策委員会情報	12		

長崎浦上支部例会報告

日 時	9月28日(水) 午後6時30分
会 場	ベストウェスタンプレミアホテル長崎
テ ー マ	『わが社の経営』 ＜創業から25年、成功と苦しみ、そして進化＞
報 告 者	(株)エイコー商事 代表取締役 富川 栄治 会員(北松浦支部)



9月のオブザーバー例会は、北松浦支部 支部長の富川 栄治さんに「わが社の経営」というテーマの報告をしていただきました。

富川さんは昭和61年に「エイコー自動車」を創業されて以来、自動車販売を中心に事業を展開されて現在に至るまでには様々な成功や苦悩の連続だったそうです。

そういう中で大切にされていたものは「経営計画書」だと何回も話をされていました。

当初は、会社全員で経営計画書を作成していたつ



もりが、気がつけば社長と幹部を中心に作成されていたものになっており、これを改善するために会社の情報開示をするなど様々な方法で徐々に社員一丸で作成するようになり、良いベクトルが回るようになったそうです。

そして経営計画書があったからこそ資金繰りや銀行との関係も良好に進める事ができたそうです。

また、経営計画書や経営戦略も大事だが、「人の縁も大事」だという事も話されており、縁があったからこそいろいろな場面で助けられる事も多いと話されていました。

報告後の発表でもやはり経営計画書は大切なものだという感想がみられ、例会に出席された多くの方々が胸に残った言葉ではないでしょうか。

《創業から25年、成功と苦しみ、そして進化》というサブタイトル通り大変内容も面白く、また、考えさせられる事も多い有意義な例会となりました。

(文責 吉川 憂也)

長崎出島支部例会報告

日 時	9月24日(水) 午後4時
会 場	サンプリエール
テ ー マ	パネルディスカッション 「わが社の顧客商品戦略」
報 告 者	西部石油(株) 代表取締役 江村 大洋 会員(長崎浦上支部) (有)竹下隆文堂 (有)鳴滝 雨やどり 代表取締役 内山 洋二 会員(長崎浦上支部) ユニオンソフト(株) 代表取締役 濱田 利夫 会員(長崎出島支部)
コーディネーター	(有)黒岩商事 代表取締役 大崎 雄二 会員(長崎出島支部)

グループディスカッションテーマ

江村氏：「増客・増益をどう取り組んだらいいと思いますか？」

内山氏：「地産の連携事業について」

濱田氏：「利益を増やすアイデアを出し合いましょう。」



今月の長崎出島支部は「わが社の顧客商品戦略」をテーマに3名のパネラーによるパネルディスカッション例会を開催しました。

パネラーの3名は長崎浦上支部より江村大洋氏と内山洋二氏、長崎出島支部より濱田利夫氏。コーディネーターを長崎出島支部の大崎雄二氏がを行い、活発な意見が飛び交う例会になりました。まずはパネラー3名の方々の開業のいきさつや現在の事

業内容などの話からスタートし、テーマである「わが社の顧客商品戦略」の話がとても盛り上がりました。

江村氏は、ガソリンスタンドを3店舗経営されており、そのうちの2店舗は、九州内のコスモ石油ガソリン出荷量フルサービス部門第1位と第2位のという販売力の高い経営をされています。現在はイオンカードとの提携事業を推進されており、提携前に比べ売り上げが倍増されているとの事でした。これからはセブンイレブンとの提携事業もされていくとの事です。またガソリンスタンド事業の他にムシパンの製造・販売をされておりその事業内容についても報告いただきました。

内山氏は、主に長崎のお土産総合企画について報告をいただきました。内山氏は「業者を喜ばせるのではなくお客さんを喜ばせる。」と言われており、常にお客さんに喜んでもらう事を考えているとの事でした。また「商品にはストーリーがなければならない。」という話がとても印象的でした。

濱田氏は、全国を相手にソフトウェアの開発・販売・サポートをする上で、訪問販売（営業）を



やめ、その代わりにパンフと解説CDをセットにしたものに変えた結果、利益が増えたエピソードを聞かせていただきました。「経営者はやめる事を決める事である。」という貴重なお話でした。

パネルディスカッションの後には、3つのテーマに別れてグループディスカッションを行い、学びの多い長崎出島支部恒例のロングタイム例会となりました。

(文責 加瀬 和利)

諫早支部例会報告

日 時	9月22日(木) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	同友会に入会して変わったもの・見えたもの
報 告 者	まちだ歯科クリニック 院長 町田 澄利 会員(長崎出島支部)



会員の中では珍しい歯科医院経営の町田さんの報告は経営面でも健康管理面でも非常に有意義な情報盛りだくさんで、充実した例会となりました。町田さんは会員である弟さんからの誘いがきっかけで数回の例会参加を経て同友会に入会されました。医学界の研修会とまったく異なる同友会の、例会システムの斬新さにとても刺激をうけ、感動して入会を決断したそうです。

町田さんは自身の医療のポリシーに「予防」を

掲げられて、日常の管理で未然に悪化を防ぎ、「歯を削らない」歯科を理想とされている点で他の歯科医院と異なります。

医療現場が病気を治す「治療室」から毎日を健康に過ごすための「癒しの空間」として人々の生活に浸透させるよう尽力されておられます。その考えはもうひとつの顔でもあるCOH労働衛生コンサルタントにも共通しており、現役労働者の支援活動として職場環境の改善にも取り組まれています。

町田さんの提唱する「予防」中心の医療方針だとかえって診療報酬額は低く、歯を削ってなんぼという報酬体系である中、経営の理想と現実が釣り合わない点はあるそうですが、人間にとってどちらがより幸せかという大きな視野に立って、誰かがやらなければいけないという使命感のもと、この壁に自身が立ち向かわれている姿勢にとても熱い想いが伝わりました。

同友会に入会されてからというもの、積極的に例会に参加され各分野の委員会にも出席されていくなかで、経営指針に関して学べたことが最大のメリットだったそうです。入会後の歯科医院の運営についてより経営者としての観点から医療を捉えるようになり、治療中心の考えから顧客満足を考えるようになり、医師から経営者として成長の変化を感じました。最近では診療時間を割いてま

で、同友会のあらゆる委員会活動に参加されてご多忙を極められておられる町田さんですが、今後も同友会での学びを続けて成長し、さらに同友会に貢献できるようにしていきたいと熱い想いを語っていただきました。このスペースでは書ききれなかった目からウロコの口腔に関する新知識、削らない治療をご希望の方、そして町田さんのポジティブ&癒しオーラを頂きにぜひ茂木のまちだ歯科クリニックへおこしてください。

(文責 狩野 源一)



大村支部例会報告

日 時	9月15日(木) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「なぜ？」から始まった業界への疑問
報 告 者	(有)上田自動車 代表取締役 上田 五月男 会員(島原支部)



今月は、島原支部より有限会社上田自動車 代表取締役上田五月男氏にお話しを伺いました。報告内容は、皆様はまだ幼少のころよく感じていた「なぜ？」です。

「なぜ？」から始まった業界への疑問

父親が始めた自動車整備工場で車検もしながらの運営でしたが、当時、車検をするにも長崎市の矢上にある陸運事務所まで検査車両を持って行かなければならず、手間も時間もかかり処理できる件数も少なく、又、ユーザー様からは車検の内容に不理解のため、値引きが当たり前の状態。それを、なぜ値引きが当たり前なのか！という点から、ビジネススクールで経営の勉強をしていたときに出会った方に、福岡の業者を紹介頂き、両親と一緒に見学に行きました。そこで自分が目指していたものは **これだ！**と気づき、早速そのやり方を取り入れようと準備しました。その見てきたものは、お客様の見えるところで車検整備をして、検査ラインを通す。という車検整備に見える化することで、納得して料金を頂くことが出来るように



になりました。値引きももちろんなくなりました。

そのため多額の設備費用を出し、民間車検指定工場を設立。規模も大きくなりましたが、車検の台数も初期と比較し10倍の台数を管理するようになり、又販売も特殊なシステム「Jプラン」を採用。販売台数も日に日に増えていきました。

上田氏も、常に経営に関して勉強し、財務がわかる経営者・銀行と対等に話が出来る経営者を目指してきました。今では社員も財務を勉強し指導が出来るまでになっています。

近い将来は、社員に会社を譲り、別の事業を計画しているそうです。

社員の方の意見も十分に取り入れ、生き生きとした職場になっています。社員の方にお聞きしたところ、「社員一人一人が自分の居場所がある会社」と答えてくれました。

お互いに信頼し、お客様にも自然に接する明るい職場。まだまだこれからも伸びていく上田自動車さん 島原の自動車産業を牽引して行ってくれるでしょう。

(文責 松野 健助)

島原支部例会報告

日 時	9月16日(金) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	「経営指針を作ろう」 ～「よい会社」をつくる～
報 告 者	小浜ガス(株) 代表取締役 酒見 英雄 会員(諫早支部)



今回の例会は諫早支部会員の酒見氏に「経営指針を作ろう」をテーマに、氏の生い立ちから始まり、趣味に関してまでお話を頂きました。

特に社会奉仕活動に熱心に取り組まれていて、地元の観光ボランティアや災害時の救援ボランティアとしても活躍されています。

経営計画に関しては福岡同友会主催の志賀島・経営計画作成セミナーに参加され、それを機に作り始められました。

経営指針は会社の方向性を決める上で必要なもので、目的を決めどういった手段で達成させるのかということであると船の舵に例えて必要性を説明して頂きました。

実際に小浜ガス様の経営指針を使用し、経営理念、経営方針、経営計画の作成方法などを実際の



数字などで説明頂いたのとてもわかりやすいご報告でした。

グループディスカッションでは・「会社の方向性を社員に朝礼など口頭で伝えるのもいいが、文章化し、形として伝えるのも大切だ。」・今回の出席者で経営指針作成していた方と未作成の方が半々だったので「話を聞いて必要性がわかったので早速作成に取り掛かろう。」などの感想が出ました。

また、質問として・「社員さん達に経営理念は浸透していると思うか」・「今後の事業展開としてどのようなことを考えているか」などが挙りました。

酒見氏は今後、まだ別事業を考えられているようで、そのバイタリティーに感動しました。私も見習いたいと思います。

この度は大変有意義な勉強をさせて頂きました。

貴重なお話を聞かせて頂き、誠にありがとうございました。

(文責 山口 武啓)

県北ブロック合同例会報告

日 時	9月16日(金) 午後6時 30 分
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	女将業を通じての体験談と私の人生
報 告 者	小浜温泉 伊勢屋旅館 女将 草野 有美子 氏

例会はまず始めに、日本政策金融公庫の方の金融に関するご案内と制度や現状の報告がありました、その後富川支部長が挨拶の中で、金融に関する自らの体験談と、経営指針作りの大切さを力説されました。

今回の報告者は小浜温泉の旅館の女将である草野有美子さんということで、どういう内容になる



のか非常に楽しみでした。

ご自分の生い立ちからお話になられ、裕福な幼少期を過ごされ、思春期を迎えるころに家庭の事情で生活面で大変苦勞されたそうです。苦しい生

活の中でも、自分は常にトップになってやるとの強い意志を持っていたとお話を聞き、大変感銘を受けました。

その後島原のおじさんのホテルに身を寄せ、ご自分の特技の日本舞踊で生活費を稼ぎながら苦難の青春時代を送ったそうです。短大卒業後、島原グランドホテルに勤務、のちに伊勢屋旅館の草野氏と結婚し、伊勢屋旅館の女将さんになりました。

12年前は、資金繰りに追われる毎日で、これでは何の為に仕事をしているのか分からなくなり、自分が幸せになる為に旅館を続けよう、お客様に来て頂こうと、一念発起。そのために自分の旅館だけでなく、地域で小浜温泉に来て頂くことを考え、女将さん仲間で手を繋ぎ、イベントなどを通して地域おこしに邁進しました。

湯布院温泉など成功事例に学び、街づくりやボランティアの事業を展開していくうちに商工会や行政との係わりも多くなりました。その中で気づいたことは、事業を行うときに責任の所在をはっきりさせると言うこと、自分を責任の中心において行動していくと行政も快く協力してくれるということだそうです。

そして2006年、女将になって伊勢屋旅館最大の転機が訪れます。県内企業再生計画の1社となり、2006年3月から5ヵ年で事業を立て直さなければなりません。五ヶ年計画を作成し、その目標に向かって、家族・社員が一丸となり一つ一つの問題を解決しながら、2008年のリーマンショックをも乗り越え、各年度の目標をクリアしていきました。

その5ヶ年の努力の結果、伊勢屋旅館は見事に計画を達成し、100%株を買い戻すことが出来たそうです。

やはりトップの思いが一番大切に、夫婦家族の仲が良くないと経営はうまくいかないし、社員全員が気持ちを理解してくれたので再生が出来たと振り返っていただきました。

最後に、おもてなしとはどういうことかと言うことを分りやすく説明して頂きました。



「おもてなしとは、お客様がこうしてほしいと思っていることを、お迎えする私が、そのお客様の気持ちを汲み取って、私のそのお客様への心配りを形や言葉で表現して差し上げること。」だそうです。

伊勢屋旅館は創業1669年で、344年の歴史があり、県内でも四番目に古い企業だということです。

私は報告をお聞きして、これだけ歴史のある企業になると、積み上げてきた徳のおかげで危機に瀕したとき、ご先祖様が草野さんのような人を引き寄せてくれたのではないかと思います、また草野さんも偶然ではなく、伊勢屋の危機を救う為に生まれてきたのではないかと考えてなりません。

(文責 山口 庄重)



レンタル一筋四十年

無料で ロゴ社名入りマットを製作

- ☆空気清浄機 ☆キャビネットタオル ☆ハンドドライア
- ☆浄水器 ☆アルカリ整水器 ☆各種モップ
- ☆玄関マット ☆エレベータマット

(有)ダスキン栄進

電話 095-823-7633
Fax 095-823-7656

おかげさまで創業32周年

有限会社 プライアント 保険

Tel : 0956-28-2425 <http://www.pliant.jp>

- 本店 佐世保市日野町70-4
- 日野支店 佐世保市日野町1828-49 2F
- 来店型ほけんショップ 佐世保市日野町1828-49 1F

青年経営者会例会報告

日 時	9月21日(水) 午後7時
会 場	同友会事務局
テ ー マ	経営者のための法律とQ&A
報 告 者	長崎中央法律事務所 弁護士 植木 博路 会員



今回は、報告者に長崎中央法律事務所の植木博路会員を迎え『経営者のための法律とQ&A』と題し、領収書や相続を主に様々なお話とQ&Aの質問タイムを設け行われました。

商売上、よく使用する領収書の重要性から記入方法まで身近で知らない事や、ちょっと難しい相続の事など丹念に教えていただき大変勉強になった例会でした。

また、電話や訪問による不当要求についての対処法として証拠を残すことなど、突然起こると動



揺してしまいそうな案件に対しても教えていただきました。話の中では、内容証明郵便や確定日付など聞いたことはあるけど良く分からない事柄の活用も盛り込まれており、備えあれば憂いなしで、ためになりました。

その後のQ&Aでは日ごろ聞きたくても聞ける人がいない法律的な事を会員による質問という形で行いましたが、みなさんいろんな疑問や不満などをお持ちのようで、事例を出した質問等も出て活発かつ有益な時間となりました。

植木会員ありがとうございました。

(文責 秋月 徹雄)



私のツーリング日記 船橋 修一 会員 (長崎出島支部)

私の趣味は、父の代から続くバイクです。それも、古いビンテージバイクをメンテナンスしながら乗るのが大好きなんです。

現在、71年型カワサキ650W1SA、72年型カワサキ900Z1、73年型BMW R60/6、82年型DUCATI900MHR、85年型スズキGSX1100Sカタナ、97年式ハーレーダビッドソンFXSTCと6台の大型バイクとスクーターのスズキアドレス100Vという7台のバイクを所有しています。これらは大方、父の代から乗り継がれたバイクでその年式も古いものはすでに製造後40年もたっています。しかし、絶好調のコンディションを維持し、ツーリングにも使用します。

写真は、BMW R60/6で、昨年9月に友人たちと「ビンテージバイク熊本ツーリング」に行ったときのものです。

僕の友人たちもバイクを複数台所有しており、この日は70年代のバイクで走りました。走ったとたん大雨！終日大雨で散々なツーリング。阿蘇・大観望をあきらめ、熊本まで行って帰ってくるという行き当たりばったりのコース変更。この大雨は、古いバイクの電装系にちとキツイ。2台のバイクが途中リタイヤ。サバイバルレースの様相を呈してきました。その途中のひとコマです。

でもこれが楽しいんですね。古くても雨の中でもガンガン走る。そして何日もかけてメンテナンスしピカピカの状態にする。古いバイクはタイムマシンです。

自分の青春時代へひとつ飛びです。身体は古くなってもバイクの熱い走りはあのときのまま、もうやめられません。



中同協 第43回 定時総会 参加報告(3)

日時：7月5日～6日

会場：ロイトン札幌



第14分科会

中小企業振興基本条例の制定とその後の取り組み

帯広支部幹事 渡辺 純夫 氏

南しれとこ支部 別海地区会幹事長 山口 寿 氏

釧路支部幹事 福井 克美 氏

釧路市産業振興部次長 高木 亨 氏

北海道同友会代表理事 守 和彦 氏

長崎出島支部 町田 澄利

7月5日から6日にかけて、蒸し暑さがなく心地よい季節の札幌での定時総会に参加してきました。総会開催に間に合うように前日の4日から札幌へ入り、札幌前夜祭に参加し、また総会終了後はサッポロビール園で札幌の料理を堪能させていただきました。

今総会の特徴は、中小企業憲章1周年と東日本大震災の2大テーマで構成されていることです。

私は、昨年から県政策委員長として同友会に協力させて頂いていますが、最初はどのような活動をしていけばいいのか全く分からない状況でしたが、酒見会員や千北佐世保支部長、また他の会員の方々のご指導を頂き、さらに昨年の大分にて開催された第42回定時総会での中小企業憲章に関する分科会への参加、大村支部との共催で開催された例会で大変勉強させていただきました。今年は宮田大村支部長や富永大村支部政策委員長はじめ大村支部会員の活動が実を結ぶ時機と捉え、さらには他地域にもよき影響を及ぼすべく県行政にもアプローチすべき時機と捉え、条例制定へ向けての取り組み方と制定後の展開についても事例を通して学ぶことを目的に第14分科会に参加させていただきました。

この分科会は中小企業振興基本条例の制定とその後の取り組みをテーマとして開催されました。

内容としては、1. 条例制定運動に取り組むきっかけと制定の過程、2. 制定を振り返ってターニングポイントと運動を進める時の注意点、3. 成果と課題、4. これからの動き について帯広市、釧路市、別海町の条例制定に関わられた政策委員3名と行政サイドに関わられた視点から1名の合計4名の報告者をパネラーとして進められました。コーディネーターは今年5月の長崎県中小企業家同友会定時総会時に記念講演をして頂いた守和彦北海道中小企業家同友会代表理事が務められ、スムーズな進行のもと皆様方から大変貴重な参考になる事例とその取り組み方などが報告されました。

また、総会宣言も採択されましたが、その中でも中小企業振興基本条例制定運動をすべての地域で進めることが唱われていました。

これら総会での報告を参考に、長崎県や長崎県下の各市でそれぞれの地域に見合った条例制定が展開されていくことに尽力させて頂きたいと思っています。会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



受付完了、いざ全体会議へ

大村支部 宮田 正一

ここにきて、中小企業振興条例制定の風が一気に吹いてきているような気がする。一昨年の島原支部設立総会の懇親会の席で、中同協鋤柄会長に「まず、中小企業憲章及び振興条例の学習から始めよ」のアドバイスを受け、自分なりに学習し、勉強会の開催など何回か進めてきたが、今回の全国総会の分科会でその意を強くしたのが実感である。グループディスカッションでは、地元の行政、恵庭市経済課長と同席したが、北海道では、自治体が競い合っているこの条例づくりと経済戦略に取り組んでいる状況があるようだ。北海道同友会

5500名の力恐るべしというところか。

報告内容は、それぞれ素晴らしいものであったが、少々「詰め込み過ぎ」の印象である。

あまりに内容が濃すぎると参加者にかえって難しい課題のような感じを与えるのではと思った。ディスカッションも含め時間が足りない分科会となったのが残念である。

今回は、2日早く大村支部の仲間と共に北海道入りし、数々の体験が出来た。北海道名産の「白

い恋人」パークでは、工場見学することが出来、食品製造業に携わる者のひとりししてたいへん勉強になった。地元の若者が働きたいと感じるような工場であった。小樽の街も素晴らしかった。古い建物を意識的に残してあり、ガラス工芸の美しさと寿司の美味しさに感動した。余市にも足をのばしシングルモルトウィスキーで酔わせてもらった。北海道大学の広大なキャンパスの散策も出来、満足の北海道遠征であった。

第11分科会

地域に責任がもてる減らない組織づくり
積み重ねから生まれる『顔と企業が見える』活動

神奈川同友会組織委員長 **小林 雅人 氏**
愛媛同友会 四国中央支部長 **佐藤 慎輔 氏**

大村支部 金井 政春

今年度の総会は北海道にて開催されました。今日まで北海道には行く機会が無く、これからも今回のチャンスを逃すと一生北の大地に足を踏み入れる事無く人生が終わる事も考え、清水の舞台から飛び降りる覚悟で参加しました。大村支部から4名の参加でした。月曜日の朝出発の予定でしたが、一日でも長く北海道に居たいとの思いから日曜日の朝から出発しました。札幌に到着後、直ちに大通り公園時計台、市場を廻りすすきの近くの居酒屋で食事、魚介類の美味しさと安さに感動しました。その後ほんの少しすすきのの歓楽街を見学しました。広々とした敷地に多くの店があり密集度、店舗数におてはさすがに日本有数でした。二日目の月曜日はタクシーを貸切って小樽へ行きました。地元の酒造メーカーに行き日本酒を堪能しました。その後石原裕次郎記念館へ、思いのほか展示物の豊富さと、貴重品の多さに感銘を受けました。その他小樽運河、山一ガラス、ニッカウ

キスキー工場、白い恋人工場等を見学してきましたが、何処に行っても歴史的な建物を大切に維持管理してありました。又、私達観光客に感動を与える仕組みと、おもてなしの気使いを感じました。誰かが付き添って説明するのではなく観光客が五感で感じ、又訪れたい、もっとゆっくり見たい、誰かに伝えたいと思わせる、何かを感じました。事業においても、同友会活動においても、お客様の事、従業員の事会員さんの事を考え満足と感動を与える努力をする事が大切であると思いました。

際立った営業活動をするのではなく、無理な会員拡大をするのではなく、会社の活動、同友会の活動に触れた方が入社、入会したくなるよう取り組みたいと思いました。

私が参加した第11分科会は「地域に責任がもてる減らない組織づくり」と題して2の方が各支部の取組を話されました。会員拡大をはかり、退会者を防止する為に小グループを作りグループ別にテーマに沿って活動するとの事でした。21のグループがそれぞれのテーマで活動すると自由さはあるが、同友会理念に沿った活動からずれる恐れがあるのではないかと。会員同士が数多くのコミュニケーションをとりベクトルを合わせた中で活動すべきだと思いました。

第6分科会

人材の採用と育成がわが社の運命を左右する
共同求人活動で企業を守り、地域を守る

広島同友会呉支部 副支部長 **岡本 祐一 氏**

佐世保支部 村山 隆之

今回全国大会に参加しようと思い立ったのは、私が同友会入会を勧め佐世保支部に入会した原田良太氏の全国大会参加のお誘いでした。入会して一年しか経たない人からの誘いです。この熱意に心打たれ、参加しました。

参加は開会前日の「さっぽろ前夜祭」からです。この「さっぽろ前夜祭」は北海道同友会会員のお

店であり大変安い料金で北海道の味を楽しむことが出来ました。さて大会初日の総会ですが、まず大変広い会場に驚嘆しました。参加者は1000名限定と聞いていましたがこの広い会場で初めての全国総会の参加でした。分科会は、広島同友会の呉伸工業(株)の岡本祐一氏の「人材の採用と育成がわが社の運命を左右する ～共同求人企業で企業を守り、地域を守る～」というご報告でした。内容としては、会社の跡取りとして父親の会社に戻ってきた社員さんは自分より年上の方ばかりで5年先10年先にはこの会社は存在出来るのだろうか？という不安に駆られた。同友会に入り学び、同友会の共同求人を毎年継続的に行うに連れ若い

社員も増えてきた。また先輩から後輩への技術の継承の必要性を皆に説き、着実に会社のシステムが良くなった。最後のまとめとしてお話されたのが、得てして会社経営に当たり目の前の変化に対応して人員を減らしたりする事もあるが、社員の育成には永い時間が必要である。経営者は自社の5年後10年後を考え人づくりに取り組まねば自社の将来はない。というご報告で締めくくられました。私も今回の第6分科会に参加し目の前の事も大切であるが経営者として中長期的な考え方で人づくりに取り組まねば自社の将来は無いと考えさせられる大会でした。参加してよかったと今、実感してます。



佐世保支部 村山さん、原田さん 到着!!

第9分科会

農業の六次産業を目指す

～年間8万人が訪れるファームレストラン～

北海道同友会 理事 仲野 満 氏

長崎出島支部 岩崎 誠一

私が、今回この定時総会に参加した理由は2つあります。まず 第一は、私の職業に最も関連のある農業（食材）の六次産業化、という、今、最も注目されているテーマの分科会を聴くことです。2つ目の理由は、先日北海道同友会の守代表理事が来崎された時の事でした。長崎同友会で講演された翌朝、たまたま一緒に朝食をとりながら、守代表理事の言われた一言でした。「北海道の定時総会を見に来なさい。特に懇親会を見てほしい。我々は料理に至るまで、決してホテルに丸投げしない、同友会会員の目で見ると必要と思うものを用意する、無駄なものは一切出さない！」という一言でした。

まず第一の目的である第9分科会は想像通りの分科会でした。仲野社長が自分で創られた木造のログハウスのファームレストラン、「ハーベスト」に着くまで約1時間くらいかかりましたが、その途中には看板が全くありません。来客の殆どは皆口コミだそうです。雄大な自然の中で、自分達で作る、野菜・果物等を文字通り、手作りで調理します。何よりもその産物のとれる農園を見ながら

食べられる安心感、というか自然感とでも言うか、見学の時に頂いたアップルパイの大変おいしいこと、とにかく感動でした。

今、食の中で大切なのは、オーガニック、というキーワードです。この感覚を是非長崎でも表現したいと強く感じました。

そういう見学分科会を終え、いよいよ懇親パーティーです。会場に入ってびっくり。参加者約1200名の椅子、テーブルが会場狭しと、県別、エリア別に並べられているのです。今迄、この規模の全国大会は例外なく立食形式でした。こんなのは初めてでした。料理も、北海名物、カニづくしから始まります。その食材の新鮮なこと、そして出るタイミング、パーティー終了時には、丁度食べてしまうという感じでした。これが守代表幹事の言われた手作り懇親会なんだ、とこの運営に感服しまくりでした。

翌朝、諫早支部の山田支部長と待ち合わせ、札幌の朝を散歩しました。道庁、大通公園その他メインストリートの広くて、さわやかで本当に気持ちの良い朝でした。

2つの目的を持って参加した定時総会でしたが、ほんとうに見事でした。北海道同友会会員の心意気に感謝感謝の全国大会でした。本当にありがとうございました。

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

長崎浦上支部 川口 圭典

7月5日からの中同協定時総会に参加してまいりました。私が参加した分科会は第9分科会 移動分科会です。正直に話すと軽い気持ちで登録させてもらいました。農場の見学とレストランの視察で後は移動のバスの中で北海道の雄大な景色を見て帰ってこようと考えたのは、甘い考えでした。移動のバスの中ではしっかり一時間報告者の(有)仲野農園 代表取締役 仲野満氏より報告を頂きました。しかしその内容がとても面白く、景色を見るのを忘れて報告に聞き入りました(当たり前のことですね!) 仲野氏は農家の4代目として生まれたが、若い頃は農業が嫌で全く農家を継ぐ気はなかったが、家を継ぐならスカイライン買ってやるとお父様から言われ、じゃあということで農業を始めたが、家業のりんごの栽培のような小規模で手間のかかるような農業ではなく、機械化された大規模な農業したいと思っていたが、諸事情により大規模農場はあきらめ、りんご等果樹を栽培し農協へ出荷していたそうです。しかしどんなに一生懸命作物を作っても、採算ぎりぎりの価格で、農協に引き取られ、しかも消費者が自分の作ったものを美味しいと感じてくれているのかどうかもわからない現状に疑問を感じ、自分で作っ

た作物を加工し、販売してみようと、ファームレストラン「ハーヴェスト」開業を決意 冬の間雪の為農作業が出来ない期間を利用し 4回の冬季を掛けて友人と二人でログハウスの建物をつくりあげオープンし、年間8万人の集客をもつレストランがはじまりました。レストランとはいえ、専門のシェフが居るわけでもなく、調理をしているのは、仲野氏の奥様とご近所の主婦の方々ばかり、うちには特別美味しいものはありませんと仲野氏は言っておられましたが、味は3割、後の7割は美味しく感じる雰囲気です。雰囲気づくりには、気を使っているとのことでした。ディスカッションテーマの農業の6次産業化必要か?という非常にざっくりしたテーマで、討論は白熱しましたが、6次化することにより、採算が上がることはやればいいし、1次産業だけでいけるところはそのままでもいいのではないかとまとめました。

ただ今回の分科会で学んだのはいかに価格決定権を持ったビジネスを確立するか。それにより利益もあがり、雇用も生まれ家業に将来の夢を持てるようになり、後継者達も生まれてくる。

私も知恵を絞って社員の夢を達成できるような経営を心がけたいと思います。

第13分科会

組織強化の鍵は人

役員と事務局の連携強化で組織的な同友会づくり

中同協幹事長 広浜 泰久 氏

福岡県中小企業家同友会 事務局長 川畑 義行 氏

神奈川県中小企業家同友会 事務局長 上野 貴之 氏

同友会事務局 山田 幸司

今回は、北海道での開催ということもあってか、非常にゆったりとした時間の流れを感じました。と同時に、今春、私どもの定時総会にお出で頂いた北海道同友会・守代表理事が強調なされていた通り、本当に「総会らしい総会」ではなかったかというのが、率直な感想です。

「中小企業憲章」閣議決定から早1年、また、東日本大震災後初の全国大会ということもあり、「復興をめざして」の特別報告をはじめ、いつにも増して全国の連帯・絆を強く感じました。

第13分科会の大きなテーマは、「いかにして組織的事務局づくりに取り組むか?」でした。

まず、中同協 広浜幹事長から、事務局のあり方や役割、また、労働環境改善に向けた問題提起があり、福岡同友会 川畑事務局長と神奈川同友

会 上野事務局長から「事務局づくり」の実践報告がありました。

事務局の労働環境改善に関しては、なかなか事務局側からは発言しづらい問題ですが、自分のためではなく、次世代のためにあえて積極的な働きかけが必要であるということを学びました。

神奈川同友会では、会と事務局の方向性を検討する場として、正副代表理事との「一泊研修」を行っていました。「一泊研修」とまではいなくても、定期的な討論の場を持たなければと思います。

ある役員経験がまだない方から、「事務局にとって、正副代表理事はじめ役員との関係だけが必要なのか。」と厳しい問いかけがありましたが、もちろん、全会員の皆様のための事務局であるのは間違いなく、だからこそ、会の方向性とその実現のために事務局がいかにあるべきかを代表役員の皆様と徹底的に討論すべきだと思います。

来期40周年を迎える長崎同友会も今だからこそ「何のための同友会なのか?」改めて考えなければいけないと思います。もちろん、「何のための事務局なのか?」も大きく問われるでしょう。よく、「その会を知るには、事務局を覗いてみれ

ばいい」と言われます。

それだけ重要であるとわかってはいるものの、実態が伴っていないのが実情です。

分科会では、「事務局の組織的運営・戦略につ



全員着席による懇親交流会

いては会員の皆様から大いに学ぼう」という結論に至りました。

今回も参加させて頂き、ありがとうございました。学んだことを実践して参ります。



さあ、いよいよ懇親交流会の始まりです！

県政策委員会情報

政策委員長 町田 澄利

今回は、政策委員会としては初めての発信となります。

政策委員会が進めている内容を分かりやすく、また、会員の皆様方との距離を近づけられるようこれからは随時発信していきたいと思っています。ご意見、ご要望、ご提案等がありましたら、よろしくお願い致します。

さて、中小企業憲章が2010年6月に閣議決定されましたが、その前後からの長崎県中小企業家同友会政策委員会の活動状況と行政、議会の動き等を3報に分けて報告致します。

第1報 【これまでの進捗状況】

○2009年度から大村支部では、地元行政との交流活動を進めていた。

○2010年度は、11月の大村支部例会において、県政策委員会との共催で中同協より瓜田靖政策局長を報告者としてお招きし、「中小企業振興基本条例」の学習会を開催した。支部内外の会員と共に、大村商工会議所から1名、行政から久保大村市副市長、田平県産業労働部政策監、大村市議会議員6名、長崎市議1名などの参加があり、内容のある例会となった。

○福田大村市商工観光部長も中小企業振興条例に

ついては関心を持っており、大村市内部でも勉強を始めている。

○大村支部政策委員会では、中小企業振興基本条例の制定を目指して、地元商工会議所と連携して大村市へ市民参加型の産業振興会議の設置提案をすべく活動を始めた。

○長崎県は産業労働部産業政策課が先進地の千葉県・神奈川県を視察している。

○2011年4月25日、大村商工会議所の時限委員会「中小企業振興委員会」の第1回会合に支部会員4名で出席。この委員会は、同友会大村支部が大村商工会議所に申し入れ実現したもので、その他の経済・産業団体と共に「協議会」を組織し、市長へ「中小企業振興基本条例」制定を前提とした市民参加型の「円卓会議」設置をまず要望する方向で活動している。大村商工会議所副会頭が委員長を兼務する。

○2011年7月23日、「中小企業振興条例学習会」として長崎県中小企業家同友会が大村にて例会を開催した。行政関係、議員、商工会議所、地元経営者、そして宮崎県中小企業家同友会からの多数のオブザーバーを加え、百名を超す参加者となった。千葉県から2名の報告者を迎え、千葉県に見る中小企業元気戦略及びその裏付けとなる中小企業の振興に関する条例について学び、戦略・条例の内容だけでなく、地域勉強会の開催や、提起された問題点や課題などをカテゴリー別に整理し次へつなげる研究会の

内容など、たいへん参考になった。

○2011年8月4日、大村商工会議所大会議室において、県議会特別委員会意見交換会が開催された。同友会大村支部にも出席要請があり、商工会議所の会頭・副会頭、6つの部会長と共に説明者として富永支部政策委員長、挨拶者として宮田支部長、オブザーバーとして金井副代表・徳田アドバイザー・大塚副支部長・山田事務局長が出席した。「中小企業振興条例」の取り組みについて説明し、その後の意見交換でも話題はこの件であり、活発な議論もなされ同友会の存在のアピールにも寄与した。

第2報 【政策委員会開催状況】

○2011年8月11日第1回政策委員会

1. 中小企業憲章とは
2. 他都道府県での進捗状況
3. 長崎県の状況把握（同友会会員および行政）
4. 長崎県での今後の取り組み

○2011年6月1日 第1回政策委員会

1. 今期の活動方針について
 - ①県、市における「中小企業振興基本条例」制定と「産業振興会議」設置に向けた取り組みの進め方について
 - ②同友会会員の「中小企業憲章」「中小企業振興基本条例」の周知の方法について

③県内中小企業の実態調査の実施について

○2011年8月31日 第2回政策委員会

1. 7月23日開催の「中小企業振興条例学習会」について
2. 8月4日開催の県議会「経済雇用・災害対策特別委員会」『意見交換会』（現地調査）について
3. 今後の活動方針について

第3報 【最新情報】

8月4日 大村支部が意見交換を行いました。県議会「経済雇用・災害対策 特別委員会」がなんと、今月13・14日 中小企業振興条例研究のため千葉県庁を訪問するそうです！動きが加速している！！と実感しています。確かに“中小企業振興条例をつくる”のが目的ではないですが、同友会の思いが盛り込まれていない状況にならないように会員全員に理解してもらって意見を集約し、行政にしっかり提言していかなければならないと思っています。

そのために政策委員会は、会内外合同の長崎県下の地域振興学習会を計画中です。地域活性化のため、共に関心を高めあいましょう！

大村支部 宮田支部長が作って下さった「中小企業振興条例とは？」（パワーポイント）も掲示しておりますので、参考にして下さい。

新入会員・復会・交代の皆さんです

（敬称略）

< 入 会 >

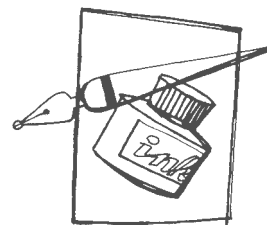
支 部 名	長崎出島	
氏 名	やまもと つとむ 山本 努	
企 業 名	㈱山本不動産	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒850-0023 長崎市出来大工町21番地 山本ビル203	
T E L	095-816-2837	F A X 095-816-2838
業 種	不動産取引業（宅地建物取引業）	
企 業 P R	山本不動産は、お客様に安心して頂ける安全で円滑な不動産取引活動を通して、不動産と人との幸せな関係作りを目指しています。そのためには、お客様のご希望を実現するためのきめ細かな誠意あるサービスの提供によって広げる信頼こそが大切であると確信しております。信頼は安心につながる原点であると考えます。皆様の大切な財産のご売却ご購入、お住み替えは山本不動産に安心してお任せ下さい。	
スポンサー	島田 清三郎	

支 部 名	大 村	
氏 名	たなか かつや 田中 勝也	
企 業 名	ドライブすてーしょん	
役 職 名	代表社員	
企 業 住 所	〒856-0835 大村市久原2丁目1578-2	
T E L	0957-54-5811	F A X 0957-27-3500
業 種	自動車整備、販売、钣金塗装	
企 業 P R	店名「ドライブすてーしょん」 車検をわかりやすくオープンに安だけの車検ではなく、お客様にご納得と共感を懐いていただけるサービスを提供しています。	
スポンサー	大塚 正一	

支 部 名	大 村		
氏 名	ながとみ こうじ 永富 孝二		
企 業 名	(有)システムフード大村		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒856-0805 大村市竹松本町937番地6		
T E L	0957-55-9911	F A X	
業 種	飲食業		
企 業 P R	元気！美味しい！を売りに、毎日新鮮な食材を用意し、最高のおもてなしをお約束します。 又、少人数～32名様まで対応出来ますので、大切な時間を意気の合った仲間やご家族で語り合ってくださいと思います。		
スポンサー	大塚 正一		

支 部 名	佐世保			
氏 名	むらやま かつひろ 村山 勝博			
企 業 名	村山産業㈱			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒858-0907 佐世保市棚方町237			
T E L	0956-47-5115	F A X	0956-47-5229	
業 種	建設業			
企 業 P R	・土木工事業（宅地造成他） ・とび、土工工事業（家屋解体等） ・産業廃棄物収集運搬業			
スポンサー	山崎 剛			

支 部 名	佐世保			
氏 名	やまかわ ひろゆき 山川 弘幸			
企 業 名	山川技建			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-0044 佐世保市相生町2-22 相生ビル3F			
T E L	0956-76-9737	F A X	0956-76-9737	
業 種	建設業			
企 業 P R	新築、増改築、店舗改装、リフォーム お客様のご意見を第一に考え、より良い方法を提案できるよう日々、努力しております。			
スポンサー	川下 眞文			



< 会員交代 >

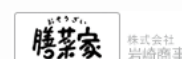
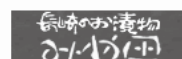
支 部 名	長崎出島			
氏 名	しょうじ ひろあき 庄司 博昭			
企 業 名	Sweet Majoram			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒850-0941 長崎市銅座町7番9号			
T E L	095-821-3700	F A X	095-821-3700	
業 種	飲食業			
企 業 P R	結婚式、2次会 Net アクセス数長崎でもトップクラス。 特典20種有。店内70名様迄OK。 コース料理、アラカルト全てOK。 過去、法事、結婚パーティ等有。			
スポンサー	岩崎 誠一			

支 部 名	長崎浦上			
氏 名	おがわ ひでかず 小川 秀和			
企 業 名	(株)サンフリード			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒851-0134 長崎市田中町584-1			
T E L	095-813-8780	F A X	095-813-8781	
業 種	食品卸			
企 業 P R	大地の恵みを、いち早くお客様のもとへお届けしたい。 サンフリードのサービスは、いつもそんな想いから始まります。 食の“安全”は言うまでもなく、新鮮かつ高品質のサービスを提供できるよう、日々心がけてまいります。			
前 会 員	小田 繁夫			

ホームページのバナー広告を募集しています！

●お問い合わせ●

事務局まで
(月500円です)



11 月例会案内

●長崎浦上支部

日 時 11月15日(火) 午後6時30分
会 場 ガレージ酒場 2F
テ - マ お宝発見例会
報 告 者 出席者全員

大好評の全員参加型のディスカッション企画例会です。
大いに語り合って、知り合い、学び合いの輪を広げましょう！

●長崎出島支部

日 時 11月22日(火) 午後6時30分
会 場 サンプリエール
テ - マ 仮題「経営品質に取り組んで我が社はどう変わったか」
報 告 者 ドゥアイネット(株) 代表取締役
土井 幸喜 会員

2009年度 長崎県経営品質賞 経営革新賞受賞、2010年度 全国企業品質賞最優秀賞を受賞された(株)ドゥアイネットの土井会員に経営品質に取り組んで会社がどう変わっていったかをお話いただきます。

●大村支部

日 時 11月17日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 入って良かった同友会
報 告 者 (株)長崎地研 代表取締役
村山 隆之 会員 (佐世保支部)

来月11月に創業32年を迎える佐世保市の(株)長崎地研。地熱・温泉開発をはじめ、地質調査・地滑り工事・土壌汚染対策事業・測量設計などを行う総合建設会社です。現在55歳の村山氏は、病により心臓にペースメーカーを装着しながら「会社の為」、「障害者の為」、そして「同友会の為」に日本全国で精力的に活躍されています。最近では二酸化塩素の殺菌消臭剤の製造販売、LED照明事業と時代を先読みした新ビジネスに着手されています。

今回は、同友会会員であるメリットを享受する方法を村山氏の経験を通して語っていただきます。同友会を上手く活用出来ない会員には必聴の報告です。

●青年経営者会 (島原支部交流例会)

日 時 11月19日(土) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 新しい事への挑戦
報 告 者 ギャリル 代表者
北尾 新 会員

「交流例会」と題し、島原支部の例会に参加します。目的は島原支部の会員が青経と同年代の方が多いので、例会に参加することでお互い良い刺激になり、接する事が少ない他ブロックの会員との交流を深めます。

●諫早支部

日 時 11月17日(木) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ ～地域密着型の企業を目指して～
報 告 者 (株)エフエム諫早 局長
酒井 郁子 会員

ラジオパーソナリティーとあり主婦であった酒井氏。現在は、局長として経営に携わっています。社員から役員に就任した現在までの苦悩や経緯、そして現在。地域密着型のFM局としての地域への関わり方を報告して頂きます。また、同友会に入会してから変わったことなどお話しして頂きます。

●島原支部

日 時 11月19日(土) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 新しい事への挑戦
報 告 者 ギャリル 代表者
北尾 新 会員

会社を起す為に多くの会社で勉強を行い、社員から見た会社とは、経営から見た会社とは何が必要なのかを実践しながら、事業拡大を行われています。新しい美容業界への挑戦を心がけ、日々努力されている事をお話しして頂きます。

●佐世保支部

日 時 11月18日(金) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ - マ 人間尊重の経営とは？障害者雇用を考える。
報 告 者 (有)エス・ケイ・フーズ 取締役
中村 こずえ 氏

長崎市内を中心にマクドナルドの店舗展開を行っている(有)エス・ケイ・フーズの中村氏によるお話です。同社は障害者雇用を積極的に進め、障害があっても会社の中で働けるように自社の環境整備なども進めてこられました。現在は自社内の取り組みだけではなく、長崎県や特別支援学校、公共職業安定所とも連携しながら他社でも障害者雇用が広がるようにと、活動を進められています。例会の報告では、人(障害者を含む)を大事にする姿勢が同社の経営にどう影響しているか、同友会の理念でもある、人間尊重の経営に共通する話が聞けると思います。

●北松浦支部

日 時 11月15日(火) 午後7時
会 場 松浦シティホテル
テ - マ 経営指針について Part1
報 告 者 稲沢会員、松永会員

今年度、例会の報告を会委員が聞き、会社にとって経営指針がどれほど必要かを感じました。今年度計画しておりました経営指針づくり委員会の担当例会として2回にわたり例会の中で経営指針づくりの学習会を行います。

2011年10月理事会 議事録 抜粋
2011年10月5日(水) つくば倶楽部

黙祷—佐世保支部 元支部長 徳重保昭会員へ哀悼の意を表し

- 1 仲間づくりについて
1) 入会・退会の承認依頼について—入会3名、退会5名を承認
2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について(ひとり一言)
- 2 報告・連絡事項
1) 9月 県本部・各ブロック・各支部・各委員会等の活動状況について
＜例会委員長＞
2011年度 第2回例会委員会を下記の通り開催します。
開催：10月22日(土) 13時～15時
会場：シーハットおおむら
ブロック・支部報告(60分)
報告者：ブロック・支部例会委員長各位
1、2011年度上半期支部・ブロック例会総括委員会報告
1-1、2011-上半期_例会確認総括表
1-2、各ブロック支部例会委員長による、2011年度上半期の総括
1-3、支部例会における課題
1-4、2011-下半期例会の展望
グループディスカッションテーマ(30分)
「ブロック・支部例会における年間・半期計画は可能か?」
＜経営指針づくり委員長＞
9月27日(火) シーハットおおむらにて2回目の委員会を行った。
12月3日(土)に半日コースでの長崎バージョン『あすなろ塾』を行なう旨決定。
10月14日(金)に、第3回委員会を開催予定。
＜情報広報委員長＞
会員増強用リーフレットは在庫がなくなりかけていますので、理事会の承認を得てから支部名やホームページ画面部分などの修正後追加印刷を行います。
経営フォーラムまでに間に合わせたいと思っています。
「入ってよかった同友会」の部分に関しては、e-doyu、FAXにて全会員の皆さんに呼びかけ、掲載者を募ります。(各ブロック1名予定)
会員間のビジネス交流を目的としたビジネス手帳は、ひな型を作成後 三役会を経て、理事会で承認を得られれば取り掛かる事となりました。
＜政策委員長＞
第2回委員会での決定を受けて、11月21日 19時に県産業政策課(6日 産業労働部に変更)との意見交換会を開催します。
また、長崎県の産業振興ビジョンに中小企業の状況を反映させるため、今後県内中小企業の実態把握を進めていきます。まず同友会会員の事業所データのアンケートを実施する予定で、現在その内容を検討中です。その中には、経営指針づくり委員会が把握したい経営指針の策定状況など他の委員会で把握したい内容があれば盛り込む予定ですので、提案して下さい。
＜宮田支部長より補足報告＞
今月18日(火) 大村市長へ中小企業振興条例制定の要望書を大村商工会議所との連名で提出します。(商工会議所からは正副会頭、大村支部からは、富永政策委員長、大塚副支部長が出席) 少しずつ会内の学びを深めていきましょう

- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして) —中村例会委員長
例会企画書は毎月第4金曜日の提出厳守をお願いします。
3) 理事選考委員会開催報告(理事会前に開催) —山田事務局長
「選考委員会の決議事項」—来期の代表理事として、現松尾代表理事を総会へ上程。
4) 中同協関係の件
①主要行事の紹介と参加促進
理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう!(申し合わせ事項)
②九州・沖縄ブロック事務局研修交流会 参加報告—山田事務局長・芦塚事務局員
5) その他
①長崎県経営品質協議会から「福地茂雄氏 特別講演」協賛に對しての御礼状を頂きました。
②公正取引委員会による「下請法等説明会・相談会」の日程が決定しました。(8月理事会で告知)
日時：11月16日(水) 19時～20時30分
会場：シーハットおおむら
③宮崎同友会 産学官民連携部会 MANGO 設立のお知らせ
目的—10年で、100のプロジェクトを生み出し、1,000名の雇用を実現する
「設立総会」 10月20日(木) 17時～21時
- 3 経営フォーラムについて —吉田副実行委員長
テーマ「今こそ、つながろう同友会」
～私たちには、すごいチカラがある～
開催日 10月28日(金)
会場 長崎ロイヤルチェスターホテル(長崎・西友道の尾店近く)
参加費 7,000円
規模 180名
お知らせお願い等
「グループ長研修」 10月19日(水) 19時より
長崎ブリックホール
選出された方はご協力の程よろしく願います。
・現在の各分科会の参加者数は、第1—62名、第2—29名、第3—35名です。
・広告のご協力ありがとうございました。
- 4 協議・承認事項
事務局の「アクセスポイント」化(無線LAN構築)について —山田事務局長
申請理由—事務局のIT環境改善のため
事務局での会合時、会員各位が『データ端末機』を持参、データ通信を行う頻度が向上したことに対応するため。
(今回の申請は、会員各位の要望によるもの)
導入に関しては承認。
設置料金に関しては、再検討の上、来月理事会に再提出。
- 5 決議事項等確認
1) 入会3名、退会5名を承認。
2) 仲間づくりリーフレットに関して
—内容の一部修正を行います。「入ってよかった同友会」の部分に関してe-doyu、FAXにて全会員の皆さんに呼びかけを行い、掲載者を募ります。希望者不在の場合は、各ブロックより1名推薦願います。
3) 事務局の「アクセスポイント化」について
—導入に関しては承認。 設置料金に関しては、再検討の上、来月理事会に再提出。

会員消息

●住所・電話・FAX変更

東島 誉志 会員 (佐世保支部)
新住所：〒857-1151 佐世保市日宇町2578-1
電話：0956-76-7406
FAX：0956-76-7409

退会者(敬称略)

会社名	会員名	支部名
アフラック代理店	西崎 徹 男	長崎浦上
(有)長田製茶	長田 篤 史	島 原
土地家屋調査士 神尾正武事務所	神尾 正 武	佐 世 保

会 員 数 (10月5日現在)

	長崎浦上	長崎出島	県 南	大 村	諫 早	島 原	県 央	佐世保	北松浦	県 北	合 計
目 標	100	100	200	50	80	40	170	100	40	140	510
期 首	84	84	168	38	40	31	109	69	31	100	377
受付含	88	87	175	44	43	31	118	70	28	98	391